

第 16 回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第 16 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成 28 年 2 月 26 日（金）午前 10 時～12 時
場 所	高円寺中学校 多目的室
出 席 者	懇談会委員 24 名（欠席 4 名）
傍 聴 者	11 名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 今後のスケジュールについて 2 新校の校名について 3 通学路について 4 3校のメモリアルについて 5 3校の交流活動について
資 料	資料 1 課題検討スケジュール（案） 資料 2 新校の校名について 資料 3 新しい通学路の検討について 資料 4 メモリアル先行事例

会長	<p>第 16 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を開催いたします。</p> <p>本日は、中島委員、山本委員、増田委員、星野委員から欠席の連絡をいただいております。</p> <p>まず、配付資料の確認をさせていただきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">（配付資料確認）</p> <p>では、本日の中身に入りますが、これまでハード面から子どもたちにとってよりよい教育環境となるように、委員の皆様から色々なご意見をいただきながら進めてまいりました。魅力がある学校、校舎の基本設計ができたのではないかなと思っております。</p> <p>これからは、新校開校するに当たって中身のほうからさらに魅力があふれる、そして安全かつ安心な学校にしていくために、引き続き幾つかの課題に取り組んでいく必要があります。ぜひ委員の皆様方からまたお知恵を借りながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、次第 1 「今後のスケジュールについて」ということで、事務局より説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>今会長からお話がありましたとおり、昨年度は、どういう学校が望ましいかというところから、目指すべき学校像である高円寺地域における新しい学校づくりの基</p>

本的な考え方を整理しまして、それを受けて、今年度は新校の基本設計を中心に議論を進めてまいったところでございます。これからは学校と地域と区と一緒にあって、子どもたちにとってよりよい学校をつくっていくために、3校の伝統を継承しつつ、ソフト面を中心とした話し合いを進めていきます。

今後の細かい議題につきまして、資料1「課題検討スケジュール（案）」を使ってご説明させていただきたいと思っております。

これは、これまでの区立の統合校の懇談会の実績を踏まえた案となりますので、あくまで今後を見通すための資料としてご参考いただければと思います。

まず、上段の新校の教育方針についてです。今、3校の校長と副校長によって、新校の教育方針案を作成いただいております。次回の懇談会で案をご紹介いただきまして、皆様の意見を伺いながら文言等を整理して、たたき台を固めてまいりたいと思っております。

平成28年度の前半に「検討期間」とありまして、平成30年度に、また「最終調整」という文言があるかと思っております。平成30年度のあたりには、議題の検討がおおよそ終わります。いろいろ意見交換をしていく中で、委員の皆様も新校のビジョンが確立されてきているかと思っておりますので、たたき台を見直して、本当にそれでいいのかというところを調整していければと思っております。

現在、3校の全教員が集まる合同研究会や、代表が集まる合同研究推進委員会が毎月1回ぐらいで開かれており、学校整備課・学校支援課の職員も毎回参加させていただいている状況ですが、小中一貫教育の研究はもちろん、開校に向けたすり合わせについても検討が進んでおります。そういった進捗状況についても、学校からご報告いただき、委員の皆様にもご意見を伺ってまいりたいと思っております。

次に2段目の校名です。新校の校名をまず固めないと、校章、校歌の検討も進みません。教育方針とともに来年度の主な議題となってきますので、詳細は本日議題としておりますので、省かせていただきます。

続いてその下、校章です。検討方法や作成方法については、来年度後期ぐらいから議題として意見交換を始めたいと思っております。

表の中に「作成方針検討」とあるかと思っております。やり方はそれぞれなのですが、今仮に「部会での検討」ということで点線にしております。業者に案の作成を委託するのか、委託して絞っていくのか、それとも一般公募とするか。さまざまなやり方ありますので、ご検討いただきたいと思います。

4段目の校歌です。こちらも校章と同様、早目に検討を行っていきたいと思っております。誰につくってもらうかというところで、ご紹介や検討など、意見交換していききたいと思います。

5段目の通学路です。これまでの統合校の例を見ると、開校の直前のあたりで検討を始めているところですが、高円寺についてはやはり距離が遠いのではないかと、という声や、環七の安全面に関するご意見が多々ありますので、少し早目に着手して、保護者や地域の方にご安心いただけるような検討を進めてまいります。

	<p>早期に検討することで、安全対策として様々な方法が画策できるかと思うので、そういった時間を十分に確保して、開校までに整備を進めることができるよう、来年度の主な議題とさせていただきます。これも本日議題としておりますので、細かいところは後ほどご説明させていただきます。</p> <p>6段目のメモリアルです。高円寺中につきましては、来年度より工事が始まってしまいますので、早期に検討をしていく必要があるかと思っております。プールや部室棟も早期に解体しますので、各校の伝統をどう残していくか話を進めていきたいと思っております。細かいところにつきましては、また本日の議題としておりますので、後ほどご説明させていただきます。</p> <p>7段目の制服です。小中一貫教育校になるので、小学校から制服は必要なのか、今ある高円寺中の制服はどうするのか、一新するのかなど、また意見交換していく必要があるかと思っております。それは平成29年度頃に検討してまいりたいと思っております。</p> <p>最後に、報告書です。この懇談会でどういう意見があったか区で報告書として発行しますので、その案文等を事務局で作成して、ご意見を伺って調整していくような流れになると思っております。</p> <p>あと、資料には掲載していませんが、これから実施設計を進めていく中で、進捗状況、また大きく変わる点などは、懇談会にもご報告させていただきます、ご意見を伺います。また工事が始まれば安全対策や進捗状況などは、その都度ご報告させていただきます、議題となることもございますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>以上が開校までの検討スケジュール案となります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今後のスケジュールにつきましてご説明いただきました。今この場で、全体のスケジュールについて何かご質問等があれば伺いたく思います。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは次の議題になりますが、「新校の校名について」です。では、また事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>まず資料2をご覧ください。新校は、施設一体型の小中一貫教育校とはいっても、小学校と中学校がそれぞれ存在しており、各々の教育的な意義を大切にしながら、同じ建物の中でより連携しやすい体制を整えていくような状況になると思っております。ですので、小学校と中学校のそれぞれの名前が必要になってくるかと思っております。</p> <p>表にありますとおり、「杉並区立学校設置条例」に基づいた正式名称となります。その他に杉並和泉学園や以前視察した渋谷本町学園のように、小中一貫教育校には学園名等の通称名のあるところが多いです。資料にありますとおり、学園名は「杉並区立学校管理運営規則」で定め、通称名となります。この通称名は、通知表等の学校が発行するもの、保護者への案内だとか、ニュースレターのようなものに使われております。小中学校それぞれ存在しつつも、9年間を見通した1つの学校として運営してまいりますので、その1つの学校と象徴する通称名は必要になってくるのではないかとということで、学園名が使われてございます。</p>

では、正式名称は何に使われるのかというところですが、表の右側の「用途例」にあるとおり、卒業証書や都区への申請・調査回答等、公的な文書に使用されます。

その下、「※」です。杉並区立学校の管理運営規則の抜粋で、これは杉並和泉学園の規則になるのですが、小中学校名でいう「杉並区立新泉和泉小学校」、「杉並区立和泉中学校」を、右側の「杉並区立小中一貫教育校杉並和泉学園」と称するというように、規則で定めております。

その下、「参考」に他自治体の実例を挙げておきました。学園と小中学校名で似たような名をつけているところもあるかと思えますけれども、「お台場学園」のように全く違う通称名をつけたり、杉並和泉学園もそうなのですけれども、「新泉」、「和泉」という伝統を重んじて正式名称をつける学校もあります。

通称名については、1つの学校として運営していく以上、教育委員会としては必要ではないかという考えですが、この懇談会では通称名が必要かどうかの確認から、意見交換を始めていただければとは思っているところでございます。

基本的には正式名称、通称名の2つが必要になるというところから、名称をつけていく順番だとか、例えばどちらかを1個検討しておいて、それに合わせてもう1個のほうを同じ名前の学校名にするだとか、後でご説明しますが、杉並和泉学園のように組み合わせを挙げて議論を進めていくだとか、様々な検討方法があるかと思えます。その検討方法を大体イメージして、方向性が決まった後に、今度は懇談会の中で挙げた候補の中で名前を絞っていくのかや、一般にアンケートをとるかなど、意見交換していくような形になります。

裏面をご覧ください。先行事例がどのように決めてきたかを表にまとめてございます。単純に言うとどの学校も何かしら意見を募集してまして、その結果を参考に懇談会で最終的な候補名を絞っています。

天沼小は、区内全域から校名案そのものを募集してまして、永福小は、校名の名前というよりは、校名に対する思い、「こういうふうにつけたらどう？」とか、「こういう思いでつけたらどう？」という意見を募集したような形になります。では、杉並和泉学園はどうしたかといいますと、先ほど申し上げたとおり、伝統ある学校の名前は残したいという意見がありまして、学園名と小中学校名の組み合わせをまず懇談会で複数選定して、それに対して地域からアンケートという形で理由とともに伺ったという状況です。

どの学校も募集はしていますが、最終的にその候補名を選定する際に、多寡で決めるのではなく、結果を見て、皆さんの意見が上がってきた理由を見て、それに納得したものを選択していくというような条件で募集した流れがでございます。

永福小と杉並和泉学園については、通常の懇談会ニュースの配布先だけではなくて、通学区域内の住宅全戸に配布しています。ですので、永福小は1万8千件くらい、杉並和泉学園は1万5千件くらい配布してアンケートをとっております。

募集の方法は、次回の懇談会以降に意見交換していただければと思いますが、資料2の4番に選定方法を参考に入れてあります。次回詳細の資料は作成する予定で

	<p>すが、今回は紹介という形でざっくりした図を載せております。</p> <p>意見募集をするのかどうか、意見募集をする際に懇談会でその案を絞るのか、では募集するならその対象範囲や実施方法はどのようにするのか、その結果を見て校名を考えていく、というような流れになります。</p> <p>本格的な検討は来年度以降になりますので、本日はできましたら「こういう思いでつけていったほうがいい」、「こういう方法で考えていこう」という考えや、「通称名はあったほうがいい」などという確認をまずしていただいて、全体的な校名に対するイメージを委員の皆様で意見交換をしていただければと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、説明をいただきましたが、懇談会のメンバーも変わる可能性がございますので、本格的な検討は次年度以降となります。今回は、校名についてのイメージと、どんな思いで新しい学校の名前をつけていったらいいのだろうかという点と、1つの学校として運営する以上、やはり象徴となる1つの名前というのはつけていくべきかという点について、ここで少し意見交換できればと思います。</p>
委員	<p>先に質問なのですが、「杉並区立学校設置条例」というのは、どういった文面なのでしょう。</p>
学校整備課長	<p>今条文を持ってきていないので、詳細にお答えできず申し訳ありません。簡単に言うと、区立学校を設置するというのを条例で定めています。別表があって、小学校、中学校、そして済美養護学校というように施設を条例で定めますので、名前もその中に盛り込まれているというものです。</p>
委員	<p>そうしますと、必ず小学校、中学校という名称が必要になるというふうに理解してよろしいですか。</p>
学校整備課長	<p>はい、そのとおりです。</p>
委員	<p>校名のつけ方、その思いの入れ方についてですが、小学校は杉八と杉四が一緒になるということで、多分名前をつけるときは、地名に対する思いか、今までの既存校名「四」と「八」という数字に対する思い、どちらがいいかという考え方があると思います。</p>
委員	<p>質問ですが、今小学校、中学校名をそれぞれつけなくてはいけないというお話でしたが、例えば通称名を使わないで、正式名が小中学校ということもあるのですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>八王子市は「小中学校」という言い方をしておりますが、あくまで通称名です。設置条例で、小学校と中学校を設置しなければいけないので、それに対しての名前は必要です。</p> <p>総称する名前が必要かどうかは、意見交換していただけたらと思います。</p>
学校整備課長	<p>この条例が、東京都を通して文科省に報告するという仕組みになっています。</p> <p>杉並区で初めての小中一貫教育校、杉並和泉学園が設置されましたが、そのときに条例上の小学校、中学校の名前を決めました。他の自治体は1つになったということで、〇〇学園などという通称名をつけています。せっかくみんなで考えて1つ</p>

	<p>の学校をつくったのだから、これから新たにスタートしていくという意味も含めて、杉並和泉学園という通称名を設ける流れになりました。あくまで通称名ですが、教育委員会の規則で定めておりますので、学園名も公式なものをご理解ください。</p>
委員	<p>再度確認なのですが、例えばよく私立の学校なんかで、〇〇学園初等部、中等部というような名称もあると思いますが、そういったものは条例には組み込まれていないのでしょうか。要するに「小学校」、「中学校」として必ず名称としてつけるのかというところです。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>学校教育法にあるとおり、「小学校」「中学校」はやはりつけなければいけません。〇〇学園小学校、〇〇学園中学校という学校は、事例で出しているとおあります。</p>
委員	<p>今、和泉学園は「杉並区立小中一貫教育校 杉並和泉学園」というふうになっていますけども、この「小中一貫教育校」というのは必ず入れるものでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>必ず入れなければいけないものではないです。「杉並区立杉並和泉学園」でもよかったのですが、他自治体の前例を参考にして、杉並区の規則を定める際に「小中一貫教育校」と入れた形です。</p> <p>結局表に出るのは〇〇学園という通称名になります。規則上の名称として、どう定めるかというところは教育委員会で検討させていただいた結果です。</p>
委員	<p>では、入れなくてもいいということですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>もし、〇〇学園という名前になるのであれば、そこは杉並区立として整合性をとりたいので、入れさせていただくこととなると思います。</p>
会長	<p>ほかはどうでしょう。</p> <p>いわゆる通称名として使っていますが、あつたほうがよいのではないかなというように感じでしょうか。</p> <p>大丈夫でしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「はい」という声あり）</p> <p>きょうも幾つかご質問やご意見をいただきましたけども、このあたりを踏まえながら、また次回以降どうやって決めていくかということも含めて議論を深めていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、次の「通学路について」ということで、事務局から説明をお願いします。</p>
学務課長	<p>それでは、通学路を所管しております学務課から、説明をさせていただきます。</p> <p>資料3をごらんください。まず新しい通学路の検討について、平成25年11月に策定した「高円寺地域における新しい学校づくり計画」に掲げてありますとおり、現在の杉並第四小学校と杉並第八小学校の通学区域を基本とする考え方に基づきまして、以下のとおり検討したいと考えておりますので、ご提案申し上げます。</p> <p>まず、現在の通学路の確認でございますけれども、別紙の地図をごらんください。現在の杉四小と杉八小の通学路を表しております。波線が小学校の通学区域、太線が通学路線となります。ニコニコマークがありますけれども、ここは通学安全指導員が登下校時、児童の安全を確認するために立っている場所です。それから環状七号線のところに、記載のとおり歩道橋が4カ所ございます。現在の通学路をもとに、</p>

今後の新しい通学路を検討させていただきたいと思います。

1枚目にお戻りください。2番目の「通学路の検討について」でございますが、資料3の一番下のほうに、先行事例を3校分まとめさせていただいております。

天沼小学校、永福小学校、杉並和泉学園ということで、部会を開くなどして、基本的には4月から5月、杉並和泉学園の場合は5月から6月かけて、部会を3回開催して決定しております。

先行事例では、主な議題として通学路の实地踏査や、案をまとめるなど取り組ませていただいているところです。

これを踏まえて、高円寺の場合も通学路の検討部会を設置して、検討したらどうかということでご提案させていただきます。

その検討部会の構成ですけれども、2の(2)をご覧ください。小学校の保護者代表として、保護者代表の懇談会委員から各校1名、地域委員から各校2名というように、あくまで現段階でのご提案ということで示しております。それから地域関係者は、懇談会委員、もしくは各校の交通安全指導員といった方の中から2名程度でいかがでしょうか。それから学校関係者としては、学校関係者の懇談会委員の中から2名程度、それから学校からは各校の副校長先生に入ってください。副校長先生が出席できないときはかわりの先生に出てくださいとか、柔軟に運営していただければと思っております。全体で12名程度のメンバーで部会を進めてはどうかと考えております。

それからこの部会の進め方として、スケジュール案が(3)に記載してあります。参考資料として3枚目の資料をごらんください。こちらが杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校開校に向けた設置懇談の記録でございます。平成26年6月20日の第26回設置懇談会のときに、町会やPTAの方を中心に通学路検討部会を設置して、現地調査等を含めてご意見をいただきながら新しい小学校の通学路を設定しようということで、決めさせていただいております。

これを受けて、平成26年7月4日に第1回通学路検討部会を開催しております。ここで通学路の設置要綱や文科省の通知等に基づきまして、まずその通学路を設定する際に当たっての留意点等を説明差し上げて、当時の新泉小学校と和泉小学校の通学路をもとに、地域の交通事情、それから危険箇所などを情報共有して、その上で意見交換をして、新しい通学路とするルートと、既存の通学路の中で廃止する箇所をチェックしまして、「通学路(案1)」を作成しております。

裏面をご覧ください。この案を受けて実際に次の検討部会では、この「通学路(案1)」に関して、写真のとおり現地調査を皆さんで行っていただきました。この現地調査を終えて、第3回の検討部会で、新しいルートの設定や廃止箇所等修正をして横断歩道をつくるなど安全対策を講じ、「通学路(案2)」としてまとめております。

「通学路(案2)」の点線が新しいルートで、太線は既存の通学路、そして丸点で囲んであるところが廃止箇所となっております。それから、安全誘導員の場所についても修正を加えて、新しい通学路案としてまとめたということでございます。

	<p>この通学路については地域の方にお知らせをして、見守り等をお願いするという ことと、将来的に交通や住宅など状況が変化したときには、再度見直すというこ を確認しております。</p> <p>参考資料の表面にお戻りいただきまして、この検討部会3回を受けまして第27回 設置懇談会にて、新しい「通学路(案2)」について説明を申し上げまして、意見交 換を行ったというような経過でございます。</p> <p>1枚目にお戻りください。今回高円寺の新しい通学路の検討スケジュール案でご ざいますけれども、平成28年4月下旬に第17回懇談会を予定しております。この ときに、通学路検討部会委員を決めて報告させていただきたいと考えております。</p> <p>それで第1回の検討部会を大体6月下旬ぐらいに開催して、新しい通学路案を選 定し、实地踏査に向けた危険箇所等の情報共有などを行いたいと考えています。</p> <p>9月中旬に第2回の検討部会では、先ほど写真にもありましたように、実際にそ の案になったところの通学路の現状を確認して、そのままいいかどうか、変更や 廃止がないかの確認や、新しい横断歩道の設置の必要性や路面の表示などをチェッ クしていきたいと思っております。</p> <p>そして、10月上旬の第3回検討部会で、实地踏査を踏まえた新しい通学路案を作 成して、安全対策等を最終的に整理させていただきたいといった流れでございます。</p> <p>最終的には、11月下旬あたりの懇談会で、検討部会の検討報告をいたしまして、 ご意見等いただいてまとめてまいりたいと考えております。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
会長	<p>今、通学路につきましてお話をいただきました。具体的な危険箇所等の意見交換 というのは、またこれからの話になろうかなと思うのですが、まず皆様に伺いた いののが、ご提案いただいた部会の設置についてです。先行事例では部会を設 置して意見交換し、さらに実踏するという段取りを踏んでいるようです。この 懇談会メンバー全員でというのも大変なので、部会をつくって検討するとい うような方向はどうでしょうかという話でしたが、何かご意見はございますか。</p>
委員	<p>この部会の構成の中で、懇談会委員以外の方も入っているように認識して いるのですが、そうなった場合この部会の位置づけが、懇談会の中の部として 存在するのか、諮問機関的な形で部会が存在するのか。どちらでしょうか。</p>
学務課長	<p>懇談会の下部組織という位置づけで、よろしいかと思えます。</p>
委員	<p>下部組織ということですね。 あともう1点、中学校に通学路はないのですか。</p>
学務課長	<p>ありません。通学路は小学校のみでございます。</p>
委員	<p>杉三小の北の学区にいる子は、特別措置ということで何年かは新しい学校に行 けるというように認識しているのですが、この子たちの通学路や学校については、 全く考えていられないのでしょうか。今の話だと、杉三小のエリアに関しては 特に誰も部会に入っていないのですが、おそらく小学生でも杉三小エリアから 通学する子は何名かいらっしゃると思います。</p>

学務課長	<p>通学区域にも関連することですが、おっしゃるように特例措置というのが平成 31 年の入学者まで設けることとしておりまして、実際にこの杉三小の北側から通って来られるお子さんはいらっしゃると思います。基本は杉四小と杉八小の通学区域ということで今は考えておりますけれども、おっしゃるように杉三小の北側のエリアも一緒に考えていく必要があると考えております。</p>
委員	<p>杉三小の方にもお話を伺ったほうがいいのではないかなと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
学務課長	<p>はい。ありがとうございます。</p>
委員	<p>今の西山さんの意見に賛成で、すごく重要なところだと思いますので、よろしく願います。</p>
会長	<p>ほかには何かございますか。</p> <p>基本的なところなのですが、今の杉三小の北側のエリアも含めて検討をしていただくという方向性でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>杉四小、杉八小に加えて、杉三小も検討ということなのですが、現在まだ希望制で杉四小や杉八小に通われていて、この学区域外から通われている方が新校に通われるということも想定されると思います。その場合はどう対応されますか。</p>
学務課長	<p>一応その区域外から来られる場合は、ルールとしては保護者の方が通学に関して責任を持つという規定になっています。もちろん学校としても区としても、一定の配慮というのは必要だと思うのですが、あくまで通学路という意味では、その学区域の中の児童が通われる安全の確保ということで考えていますので、少し別の扱いになるかなとは思っております。</p> <p>例えば杉並区内内の隣接の学区域から来られるということであれば、その隣接の学校の通学路というのは、またそれはそれで決まっておりますので、そことの兼ね合いで、より安全なルートで来てくださいというようなことのご提案なりを、お伝えすることはできると思っております。</p>
委員	<p>ただ現実論として、例えば今、杉六小エリアから杉八小に通われているお子さんは当然もっと遠くなり、そういった安全面確保は必要になると思いますので、そういった該当児童がいらっしゃった場合は個別に対応等を考えていただければと思います。</p>
委員	<p>確認事項です。通学区域は、完全に固定なのでしょう。</p> <p>これまで数年前には、実際の通学路開始後に何年か様子を見て、見直しをするという方向性のお話があったと思うのですが、それが現在の説明の中では、固定されている区域のように聞こえます。</p> <p>ここを3年か4年か見ていけば、例えば杉三小の北側の学区域の子たちは、短い信号1カ所を渡れば新校に来られるので、安全です。それに対して、新高円寺に近いほうの高南二丁目区域の子たちは、通学距離が長いです。信号も、高南通りも含め結構広い通りを2つ、3つと渡ることになります。</p> <p>危険度というのは当然あるわけで、通学区域を見直すというような姿勢を基本的</p>

	<p>に持っていただけたほうが、いいと思います。特例と運用だけでは、そこに住んでいる方の気持ちを推しはかると、簡単には納得いかないだろうと思います。懸念として、私は申し上げたいと思います。</p>
学務課長	<p>この「高円寺地域における新しい学校づくり計画」の通学区域の考え方というのは変わっておりませんので、少し端折って書いてありますので、「杉四と杉八小学校の通学区域を基本とする」というふうに書いてありますけれども、この後に杉三小と杉十小の意見等も聞きながら検討していきますというような表現になっております。その考え方は変わっておりません。</p> <p>この特例措置の説明も、前の懇談会のごときにご説明を差し上げましたけれども、平成31年4月入学のお子さんまでを対象として特例措置を設けて、その間このエリアにお住まいのお子さんたちがどういうふうに入学的選択をされるかという状況を精査しまして、最終的に学区域も決めるという考え方を持っておりますので、ガチガチに固定でもうこれで決まりということではございません。それは今後の検討の中で方向性としては持ってしておりますので、ご了承いただければと思います。</p>
委員	<p>確認です。平成31年度に開校して、その時点で日程的には特例の措置はもう停止になっているということですか。</p>
学務課長	<p>そのことも含めて、平成30年度に決定することになると思います。</p>
委員	<p>平成32年度以降に特例を適用してほしいと申請があったときには、既に学区域は決まっていると。実は杉六小や杉三小のほうが家から近い、大きい道路は1回渡れば済むという状況の場合、別の対応はできないのでしょうか。</p>
学務課長	<p>それは特例とは別に指定校変更の制度がありますので、特に小学校のおさんは、通学距離が近いほうに通いたいというお申し出はたくさんあります。通学路の距離が、実際の指定校よりも指定校でない隣接の学校のほうが近いという場合には、申し立てをしていただければ、指定校変更制度で通っていただけます。</p>
委員	<p>杉三小の北側区域の子たちは、ほっといても新校へ行くようになるという気がするのです。その可能性が十分高い中で、今の区域を原則としていくというのは、少し固すぎるように思います。もう少し運用として、見通しを幅広く持って、懇談会でそのような意見交換がなされたことが、皆さんに伝わるのが重要ではないかと思えます。</p>
学務課長	<p>年度末で、平成28年度の進入学の状況が確定しますので、そういった結果もこの懇談会でもご報告をさせていただいて、これは特例措置が続く間、毎年情報共有をさせていただいて、ご意見等も伺っていければと思っております。杉八小の南側と、杉三小の北側のエリアですけれども、それぞれ30名程度の住民登録のおさんがいらっしゃいます。そのお子さんたちが実際にどの学校に入られたというのは、データとして出てきますので、そういったことも踏まえてご議論いただければと思っております。</p>
委員	<p>しっかりとした信念で、姿勢は示さなければいけないと思います。ただし、現状追認を安易にやるというわけではなく、簡単な朝令暮改をするわけではなく、現状</p>

	<p>にしっかり対応して、本当に必要なら法は変えるという、そういう考え方は根底にあってしかるべきかとの感想を持っています。</p>
学務課長	<p>はい。ご意見はしっかり承っております。</p>
会長	<p>では、いろいろそのあたりについても、今後検討は重ねていくとは思いますが、具体的に通学路をどうしていくのかという検討については、今までと同様に部会をつくって意見交換していくほうがいいのではないかと思います。方向性としてはいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声あり）</p> <p>では、原案については部会で作っていただいて、それをもとにまた懇談会でたたいていただくというような手順を進めていければというふうに思っておりますので、よろしく願いできればと思います。</p> <p>資料の検討スケジュール案では、次回懇談会で検討部会委員を提示するとなっておりますので、それまでに小学校と調整した上で相談をしていきたいと思っております。</p> <p>部会のメンバーとして、こんな人がいるといいのではないかとご意見がありましたら、教えていただけますでしょうか。もし考えがありましたら、事務局にお知らせいただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第4に入ります。3校のメモリアルについてですが、事務局から説明をお願いできますでしょうか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>3校のメモリアルについて、ご説明させていただきます。</p> <p>設計図をお持ちの方はごらんいただければと思うのですが、昇降口を入れて目の前に交流ホールがございまして、その突き当りにメモリアルスペースというのを設けていたかと思います。3校の伝統などを紹介するエリアを設けているのですが、そこをどうやって活用していくかというところを、これから検討していただければと思っているところでございます。</p> <p>先ほども今後のスケジュールの中でご説明させていただきましたが、高円寺中においては来年度、プールの解体、新校舎建設と順々に工事が始まっていきますので、従来の景色とも変わってきます。具体的に言えば「御神木」と言われているクスノキとか、あとは卒業制作の壁だとか、いろいろあるかと思うのですが、工事が進んでいきますので、どういう形で残していくのかというところを早目に検討してまいりたいと思っております。</p> <p>資料4の別紙の参考資料に、3校メモリアルの一例を、正副校長先生から写真をいただいて掲載してございます。これをどうというわけではないのですが、こういったものを、必要性等の観点も含めて、どういう感じで残していくか検討していく必要があります。部会を設置したほうがいいのかなど、検討方法によって異なってくるかと思っておりますので、本日は先行事例をご紹介させていただきたいと思っております。</p> <p>資料4をご覧ください。天沼小は、地下1階にメモリアルルームを設けてございます。そのメモリアルルームの中身について、写真4枚で紹介しておりますが、校旗や航空写真、トロフィーを飾っております。写真にはないのですが、歴代の校長</p>

	<p>先生の写真なども飾っています。学校が中心となって検討しています。</p> <p>永福小は、体育館棟を改築しています。プール、体育館、図書室などがメインになっているのですが、そこに写真のようなメモリアルルームが併設されております。中身はこれまでどおり、学校のほうで、何を残してどう飾っていくか検討していただいておりますが、それとは別に旧永福小と旧永南小の象徴的なものを別途作成しています。旧永南小の開校時に校庭に著名な美術家が作成した時計台がありまして、そのミニチュア版をその体育館棟の入り口に置かせていただいております。</p> <p>あと永福小では、体育館の工事で伐採することになったシンボルツリーであるケヤキが、ここでいえばクスノキのような感じになるかと思うのですが、地域の思いがかなり強くて、どうにか残してくれないかというところで、体育館棟の壁沿いに、シルエットを彫っています。切った木は保存しておいて、椅子やテーブル、ベンチなどを作成しています。もともと旧永福小には、卒業生である建築家が作成した木製の六角形のベンチと机があったのですが、その方からメモリアルについてもぜひ作成したいというお声があったので、お願いした経緯がございます。</p> <p>あと杉並和泉学園です。視察に行った方はごらんいただいたかと思うのですが、ラーニングセンターの一角、図書室の手前に地域資料コーナーが併設されておりまして、パソコンが3台あったかと思えます。3校の歴史や行事、卒業制作など、学校のものだけではなくて、給食や遊び、地域の歴史など、昔はこういう状況だったよというような地域の人インタビューなども入っています。なので、子どもたちの調べ学習にも活用して、さらに新校の歴史もこの中にどんどん上書きして行って、行事の写真などを載せていければ、子どもたちは1回見たら終わりではなくて、ずっと見ていけるのではないのという思いで、作成したような流れです。</p> <p>そもそも図書室の手前はかなり広いスペースがありましたので、ただの出入り口にならないように、何かレイアウトを考えて、和泉をイメージするような景色で飾るだとかという案もありました。学校支援本部で定期的に催しを変えて行って、昔の遊びなどを置いて遊べるような形にして子どもたちが楽しめる場にしてほしいなど、いろいろ案が出ていました。そういった経緯があり、学校支援本部を中心とした部会を設置して、過去の学校の歴史も含めてどう検討していくかというところで、部会が設置された経緯がございます。</p> <p>ですので、何をどう残すかの方向性によってこのメモリアル検討部会を設置するかしないか、というところにも関わってくるかと思えますので、今回高円寺もどう残すか、どう検討していくかというところからまず始めていただいて、その流れで部会は設置したほうがいいのかというところを、皆様の中で意見交換していただければと思っているところでございます。</p> <p>私の説明は以上となります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、3校のメモリアルを今後どんな形で残していくのかというところについて、先行の学校の事例を説明していただきました。学校によって随分違うのだな</p>

	<p>というのが率直な感想なのですが、基本的にはそれぞれの学校の歴史というところになりますので、学校が主体となりつつも保護者の皆様、それから卒業生、地域の皆様方のご意見も伺いながら検討していくべきなのかなと思うのですが、永福小のように象徴的なものを継承していくのか。また、地域を含め包括的に歴史を残していこうという杉並和泉学園のパターンがあるのか。どんなふうに進めていくのかは、また今後の議論になろうかと思うのですが、今までの話で何かご意見があったら、伺いたいと思います。</p>
委員	<p>思い出の残し方という考え方で、今の永福小学校と和泉学園の例を比べてみると、永福小学校は本当にアナログタイプで、トラッドなものをつくっていますよね。和泉学園はデジタルで、最新型のものを残しているのですが、最新型のもは50年たてばがらくたになるので、その辺も考えていきたい。多分そういうカルチャーは25年ぐらいの周期なので、25年後にそれを見たときにどう感じるかというイメージを持って、デジタルとアナログのバランスを考えていったほうが良いと思います。</p>
委員	<p>これはやはり3校で差が出てしまうのもよくないかなと思いますので、それぞれどんなものを残していきたいか、挙げてもらったほうが一番いいのかなと思います。部会を上げるかどうかは、その先なので、とりあえず今は残したいものを各学校で挙げてもらって、それを実行委員会なりに上げてもらうのがいいかなと思います。</p>
委員	<p>この場で話すことではないのかもしれないのですが、杉八小は一応あの状態で残ったまま、人がこっちに移動してくるのですよね。思い出の桜の木などを新しい学校に移すかどうかという問題はあったとしても、杉八小に行けばまだその空間で過ごすことができるというところで、杉八小の跡地がどう活用されるかによっても、何を新校に持っていきたいかというのは変わってくるかなと思います。杉八小の校庭の木をみんな切って、何か新しい物を建てますと言われたら、それこそ椅子や壁板にしたいとか、そういう意見が出てくると思うのですが。何を持って行きたいかというのは今の時点では難しいなと思っています。</p>
学校整備担当部長	<p>やはり今の学校校舎がなくなってしまうか、当分まだ使うかというところで、温度差があるはずですね。先ほど他の委員さんの話にありましたが、デジタル的なものとアナログ的なものを両方併用するということにつながってくるかと思います。</p> <p>再開発事業の事例として、駅前大きなアパートを取り壊すということで、玄関にあった金魚模様の床タイルを新しい施設の庭のモニュメントの前に残したり、玄関の壁をそのまま切り取って、新しい学校の壁に移設したりということを行いました。地域のOBの方がその新しい学校や施設に行ったときに、「これ毎日踏んでいたよね」という思い出を残すようなことが、民間の建物ではあります。</p> <p>それから民間の厚生施設を解体したときは、「アトム館」というクラブハウスのアールデコ風の建物のアールの壁をそのまま切り取って、次の建物の中に入れたという事例もあります。今後、残せる思い出の形を何にするかというのに、そういう視点も大切かなと思います。</p>
会長	<p>この残し方について、ほかにはいかがでしょう。</p>

委員	<p>杉十小が移転したときに、「セシオン杉並」の一角に石碑を残しています。そういった形で杉四小や杉八小の現地にも残すというのも一つの考えだと思います。</p>
委員	<p>今お話があった杉四小、杉八小の跡地利用のことを考えていくと、最初にお示しいただいたスケジュールが、大幅に後ろにずれるのではないかなと思います。</p> <p>あと、平成 29 年から実際の工事が始まりますが、計画では今の昇降口のところから工事車輛の搬入となると、西側のフェンスが撤去され、そこに掛かっている小中一貫教育の記念の絵を撤去しなければいけないですね。そうなってくると、その辺も考慮したスケジュールを立てないと、進んでいかないのかなと思います。3校の学校からの意見等も踏まえながら、きっちりと段階を踏んで、漏れなくやっていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
会長	<p>ほかはどうでしょうか。とても貴重なご意見をいただいているなと思います。</p> <p>では、決め方については今後の検討になりますが、まず3校それぞれ、きょうの資料にも幾つか高円寺中の壁画やクスノキ等の写真が載っていましたが、こういうところも含めて、まず学校で考えていただく。それから、委員の皆様と意見交換をしながら、考えていくことになろうかなと思います。</p> <p>必要に応じて、部会の設置も必要になろうかなということも出てくるかもしれませんが、そのときにはそれぞれの部会でまた検討していただくお力をお借りできればと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また何か意見がありましたら、事務局や学校に教えていただければ助かります。それでは、次の次第に参りたいと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>すみません。次の次第に入る前に、次第1の今後のスケジュール案について、今挙げた3つの議題のほかの内容でご質問があれば伺いたいと思います。</p>
会長	<p>ここまでの中身でご質問等ございましたらお願いいたします。</p> <p>特にはございませんか。</p> <p>では、また何か思いつかれたらそこで伺いたいと思います。</p> <p>次第の5は「3校の交流活動について」になります。ことしも研究推進委員会や小中合同研究会などで、3校の先生方間で精力的に活動を進めてまいりました。それにつきまして、杉四小高橋校長先生からご説明していただければと思います。</p>
杉四小校長	<p>では、パワーポイントを使ってご説明いたします。</p> <p>「3校の交流活動について」ということでお話をしますけれども、学校としては、3校がこの新校開校に向けて小中合同の研究会をつくって、職員全体でいろいろな話をしながら進めています。</p> <p>平成 27 年度の取り組みということで、私が赴任してきて2日目に、この場所で合同研究会を持ちました。3校の先生方が全部集まって、そこで顔を合わせ、組織づくり、今後の日程について話をしました。</p> <p>そこで、従前はニューズレターを毎年1回ずつ発行していたのですが、ことしは3回発行して、保護者や地域に組みの様子を発信しようという話になりました。組織は3校の管理職を含めた主任の人たちが集まって、研究推進委員会を開いて、</p>

そこで出てきた意見を土台に、合同研究会で協議するという構成になっています。

合同研究会は、教育計画検討分科会と、交流活動分科会という2つの分科会に分けて活動しました。

教育計画検討分科会では、新校開校に向けて、お互いの教育課程や中身をどのように一本化していくか話し合うために、それぞれ教務、生活指導、特別活動等の学校の分掌に合わせてつくりました。

交流活動分科会では、今までやってきた「阿波踊り」、「高円寺カルタ」、「花いっぱい」など、活動の連絡・調整をするという目的で立ち上げ、この2つの分科会を合同研究会ということで開いてまいりました。

今年度は、研究推進委員会、合同研究会を、杉四小を会場に計9回行いました。

その中で、特にことしは小小連携が大事だろうということで、杉四小、杉八小の小小連携を進めるために、まず学校レベルでは「学年だより」を交換し合うことになりました。例えば杉四小の3年生の先生は、杉八小の3年生の「学年だより」も見ているということになり、お互い同じ学年でどんなことをやっているかということが見えやすいようにしようということで、進めてきました。実際の交流活動では、今年度は年間17回、杉四小の5・6年生が高円寺中で学習をしてきました。

5月15日、高円寺中の生徒と杉四小の5・6年生が高円寺中のアリーナに集まり、対面式を行いました。高円寺中では、中学校の先生の授業も受けることができました。今後また、中学校の先生の授業を受けるという機会を増やしていけるといいなと考えています。

5月28日、杉八小の運動会の阿波踊りには高円寺中も参加しています。青い法被を着ているのが高円寺中の生徒です。

一方、5月30日の高円寺中の運動会には、杉四小と高円寺北子供園が参加しました。子供園と低学年は、このパン食い競争ならぬ、キャラクターの消しゴム取りのようなことを行いました。中学年は綱引きをやりました。3・4年生が手前で、奥が中学3年生ということで、話を聞くとところによると、中学生は「小学生相手に負けるわけない」と思っていたらしいのですが、中学生30人程度に対して、3・4年生は60人ぐらいいるわけですから、結果小学校が圧倒的に勝ってしまいました。高学年はリレーということで、テニスのラケットの上にボールを置いてリレーをするというのをやったのですが、一応中学生はハンデをつけてボールを1個多くしてやったのですが、そんなハンデをつけなくてもよかったなというぐらい、またこれも5・6年生が勝ってしまいました。もうとにかくいろいろなところで、ことしは小中一貫で頑張れるところは頑張らしましょうということで、PTA競技も我々管理職は3人で協力して、PTA競技の綱引きを行いました。誰が一番頑張っているかという、写真の表情からするとやはり橋本先生ですかね。そして、リレーも職員チームをつくるように言われて、杉四小、杉八小の職員で1チーム組んで走るということで、私が黒川校長先生にバトンを手渡しました。そんな形で高円寺中の運動会に杉四小の全学年が参加するというような形で、運動会は進みました。

小中連携では、6月1日から3日間、杉四小の6年生と杉八小の5・6年生合同で弓ヶ浜へ行きました。写真は、同じ場所でご飯を食べているところです。閉園式も合同で行いました。来年度も、杉四小と杉八小と合同で移動教室を進める予定になっています。

それから、小中一貫教育で、5・6年生が高円寺中へ来ている間、私は中学校の給食を食べさせてくれないか相談しました。最初は5・6年のクラスで、後半は中学校の各クラスへ行き、全クラスで給食をごちそうになってきました。私が食べた限りでは本当においしい給食で、中学生と小学生で似たような献立でやるときもあるし、中学生らしいメニューが出るときもありましたが、子どもたちに高円寺中でもおいしい給食が食べられるということ、改めて言っていきたいと思っています。

それから7月16日に、杉八小に八丈島の漁協の方が「浜のお母さん」という授業を行いにくるということで、杉四小の4年生も参加させてもらい、一緒に授業を受けました。このときは、魚のさばき方などを一緒に勉強しました。

2学期になって、10月4日は杉四小の運動会があり、このときにはまた高円寺中の生徒の皆さんと一緒に参加してくれて、阿波踊りを踊りました。

10月20日は部活動体験ということで、小学生が高円寺中へ来て、杉四小、杉八小が部活の体験をしました。この部活動体験が子どもたちにとっては印象に残るようで、先輩たちに聞いてもやはり「部活動体験はよかった」というような話が結構あって、これも一つの交流として大きいかなと感じています。

それから、高円寺駅前に立ってクリーンキャンペーンをやりました。このときも杉四小、杉八小、高円寺中の3校で集まって、それぞれ取り組みをしました。

10月24日、高円寺中の「わくわくフェスティバル」です。杉四小の5年生は、お米の授業をずっと総合で学んできたので、その報告をパワーポイントを使って発表し、杉八小は阿波踊りのときに清掃活動をやったという報告をプレゼン形式で行いました。午後は例によって阿波踊りを踊りました。

あとは、小中一貫教育で杉四小の5・6年生が来ているときに、杉四小の栄養士と高円寺中の栄養士で協働して食育の授業を行いました。

それからこれもずっと続けていることですが、合同の図書館活動ということで、杉四小、杉八小、高円寺中の図書室の前に、それぞれの読書感想作品を掲示するなどの交流を進めています。

それから11月6日は小中合同の地域清掃を行いました。中学生がいろいろリードしてくれたとの声が、小学生から上がっていました。「花いっぱい運動」においても中学生が手際よく活動してくれるので、見ていて頼もしいなというような印象を受けています。

12月4日、杉四小の学校評議員会があり、2学期の開催時には必ず小中一貫教育の様子を見てもらおうということで、授業の様子を見ていただきました。

「歳末たすけあい運動」も、先ほどのクリーンキャンペーンと同じように3校で合同して行いました。

12月23日の「高円寺ゆめ音楽祭」は高円寺中の体育館を借りて、3校が合同で参加しました。杉八小の琴クラブと音楽教室、杉四小のブラスバンドと天鼓隊、高円寺中の吹奏楽部ということで、それぞれの音楽的な交流ができたかなと思います。

3学期では、杉四小の体育館で「模擬選挙」を行いました。杉四小と杉八小の5・6年生が合同で杉並区の選挙管理委員会の協力も得て、実際の投票から開票まで、それぞれ子どもたちの中から係をピックアップして行いました。全員が投票するというのでやったのですが、この模擬選挙自体が初めての取り組みだったので、ぜひ杉八小も一緒にということで、合同で取り組むことができました。なかなか新しいイベントでしたけれども、杉四小と杉八小の5・6年生と一緒に行動ができた、活動ができたというのが、すごくよかったかなと思っています。

それから同じように、それぞれ4年生はお互いに「杉四カンパニー」、「高円寺エコ研究所」という、総合的な学習の取り組みの中で商品をつくって販売するような、いわゆる起業家教育、キャリア教育的なことを含めた活動をやっているのですが、似たようなことをやっているわけだから、せっかくだから合同発表会をやるよということで、杉八小の4年生に杉四小の図書室に来てもらって、報告会をしました。

今年度の成果としては、やはりニュースレターを3号出せたことです。3号目はまだ皆さんのお手元に届いてはいないのですが、3月初旬にはお配りできるかなと思っています。今日見ていただいたスライドの写真は、ことしのニュースレターに載っていたものがほとんどです。

それから、合同研究会で新校開校に向けてのさまざまな話し合いができました。一本化に向けていろいろな話をしていたのですが、その中でこの懇談会でも提示された基本設計の設計について随分学校サイドで、「ここはこうしたほうがいい」というような議論を経てやってきたので、3校の全職員が新校に向けての作業に参加することができたかなと思っています。

設計自体、本当に現場サイドの声を最大限取り入れていただけてきたかなと思っています。例えば小学校、中学校はある程度分けられるようにしてほしいという意見もかなり酌み取っていただいて、階層に合わせて小と中をつくっていただくなど、基本設計のハード面についてはかなりご配慮いただけたかなと思っています。

あとはやはり生活指導のソフト面というところです。実際にどういうふうに生活指導をやっていくかというところは、まだ一本化まではいきませんが、それぞれ杉四小、杉八小のよさを生かしながらどういう方向でいくのがいいかということで、来年度の教育課程全般については、ほとんど杉四小、杉八小は同じような流れで今つくっていますので、来年度はさらに新校開校に向けた取り組みが進められるかなと思います。

それから小小連携をより進め、深めることができました。昨年と比べて杉四小、杉八小と一緒にいろいろな活動がする機会が量的にも増えましたし、その中で随分小小の間の連携は深まったのではないかなと思っています。では、課題は何なのと言ったときに、とにかく課題は新校開校に向けて、やはり子どもたちにとってより

	<p>よい学校をつくるということに尽きるだろうと思います。具体的には今より水準が下がることがないように、工事期間で教育内容が下がらないように進めていくということが、我々現場サイドの今後の課題だろうと思っています。</p> <p>平成28年度は「学力向上プロジェクト28」と「インクルーシブプロジェクト28」という2つの柱でやっていきます。</p> <p>学力向上プロジェクトというのは、とにかく3校で協働して子どもたちの学力向上を図っていこうという取組です。やはり学校の使命というのは、子どもたちに力をつけるということです。単純に学力テストの学力ということではなくて、総合的な学力というところを意識していますが、子どもたちの力がついた、「ああ、頑張れたな」と思えるようなものを3校でつくっていこうと思っています。</p> <p>それからインクルーシブプロジェクトでは、共生社会の実現に向けて特別支援教育、インクルーシブ教育の2本の柱を3校で協働して新校開校まで進めていこうと思っています。</p> <p>子どもたちにとってよりよい新校をつくるために、教育内容や教育課程、教育方法等において、よりよいものを考えていくということが、我々教員の仕事だろうと思っています。来年度はそのために、まず3校合同で学力向上に取り組んでいこうと考えています。</p> <p>以上で簡単ではありますが、交流活動の報告にしたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。教育課程とは、来年1年間こういう方針で学校をやるよというプランなのですが、小学校、中学校ほとんど根っこは同じ形でできたかなと思っています。去年は一緒に言語活動の充実ということで、授業に取り組んできたのですが、中学校の教員からすると、小学校の先生から学ぶことはとてもあります。ことし私が一番勉強したのは、総合的な学習の時間です。2校の小学生が来て発表してくれたのですが、正直参りました。中学校はこのままではだめだぞというのが私の正直な感想で、次年度の総合は少し気合いを入れていかなくてはいけないなというふうに思っています。</p> <p>やはりどうしても中学校にいと中学校だけの考え方になりがちなのですが、小学校の子どもたちと一緒に活動して、先生方と取り組みをしていく中で、我々自身がたくさん学べたというのがすごくよかったなと思っていますし、中学生自身もいい影響を受けているなというのは調査の中からもわかってきていますので、今後とも進めていければと思っています。</p> <p>何かここまでの、質問がございましたら高橋先生に受けていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>先生方はお忙しいなか、合同研究会にも時間を使ってやっていただいている、すごくありがたく思います。先生方は転勤があるので、入れ替えがあったときに、研究会の温度が冷めないように、継承していただきたいなと思います。新しい先生が入ってきたときに、その新しいパワーをベースにしていろいろやっていただ</p>

	けたらありがたいなと思います。
委員	<p>お願いですが、今の4年生が中学1年生の時に、新校が開校になると思うのですが、そうすると今3年生以降の子どもたちが、今は杉四小、杉八小で過ごしていますが、新校では同じ学年として一緒になるということになるので、今いろいろ交流をしていただいているのはすごくわかるのですが、やはり高学年の活動が多いので、開校が近くなったら、その辺りもケアしていただけるといいのかなと思います。</p>
会長	おっしゃるとおりですね。了解しました。
委員	<p>今の発表を聞いて、思ったよりとても3校の交流が進んでいるなという感想を持ちました。私は、中学校の給食が美味しくないと子どもから聞いたのですが、うちの妻が食べたときに聞いたら、どうも身体のことを考えて若干薄味にしているようで、非常においしかったそうです。少し大人の味に近いのかなと思いました。</p> <p>あと1つ提案なのですが、話の中にあつた模擬選挙はとてもいいなと思ったので、新校のことについても、活用できないかなと思いました。子どもから公募をして集めたものを幾つか並べて、模擬選挙のように子どもに選ばせるというのも、おもしろい取組かなと感じました。やはり子どもが最終的に使うものですから、通称名などはやはり子どもに選ばせるというのがいいのではないかなと思っています。</p> <p>全般的にはとてもいい取り組みで少し感動しました。ありがとうございました。</p>
会長	確かに子どもたちが参加というのはいいですね。
委員	<p>非常に交流が進んでいるので、3年後の開校に向けてスムーズに進んでいくのかなと感じました。</p> <p>それに合わせて、できれば保護者や地域の方、特にPTAについても、開校後スムーズに連携できるように、できれば学校から少しお声がけしていただくような形をとっていただいて、事前に交流を深められればと感じております。</p>
委員	<p>要望です。</p> <p>これから3年間、報告いただいたような研究会が継続されていくと思います。それだけ行事が多ければ多いほど、先生方に負担が回ります。</p> <p>学校支援本部やその他組織から応援が入るなど、行政的なサポートをしていただけないでしょうか。</p> <p>もともと自宅に持ち帰って、授業の計画や予復習なさっているのが現状で、昼間には教材研究なんてほとんどできないような状況にある中で、このような努力をされていて、大変ありがたく思います。</p>
委員	<p>今の意見はとても大切です。3校一緒に活動する場合でも、当然地域行事などは、先生方がお休みの日を使って登場することもあります。休日だから補償はできない、と言われてしまうと、それ以上何もできません。行政のほうから、何かフォローをしていただきたいなと思います。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>ほかはいかがでございましょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>今、先生方が忙しいのではないかとのご指摘がありました。もちろんお休み</p>

	<p>の日に来ればほかの日をお休みにしますし、そのあたりのフォローはきちんとやっていってまいりますので、また3校で力を合わせて取り組んでいければと思っております。</p> <p>それでは、最後に「その他」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>事務連絡ですが、5点あります。</p> <p>まず1点目ですが、先日懇談会の委員の皆様にも開催のお知らせを送らせていただいたかと思うのですが、近隣の方を対象にまちづくり条例に基づく住民説明会を開催させていただきました。高円寺中学校の境界から、本来であれば校舎の2倍の高さの範囲になりますが、今回は100メートルの範囲の方々にまず開催のお知らせをポスティング、そして権利者、所有者に対しても通知を送らせていただいて、約1,230件の開催のお知らせを発送してございます。</p> <p>2回開催しております、1月29日に午後7時から高円寺中学校の体育館で、2月18日に午後2時から「座・高円寺」の阿波おどりホールで開催させていただきました。2回開催して、1回目は43名、2回目は61名の方にご参加いただいております。懇談会委員の皆様の中にもお忙しいところご参加いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>当日は施設一体型小中一貫教育校のメリットや、この高円寺中の敷地でいいのかというような、計画に対する根本的なご質問が多かったように思います。あとは防音、防砂などの近隣への配慮に関するご要望もございましたので、そこにつきましては実施設計でご意見を踏まえて、検討を進めてまいりたいと思います。</p> <p>説明会にご出席いただけなかった方に対しては、その説明会で使用した資料を、説明会翌日の2月19日に、また同様に近隣100メートルの方々と、権利者等に約1,100件程度、ポスティングと発送で、情報の周知を図ってございます。</p> <p>2点目の事務連絡になりますが、机の上の茶封筒があるかと思えます。説明会にご都合上お越しいただけなかった委員の方へは説明会資料を情報共有として入れさせていただきますいております。</p> <p>3点目です。3月中旬くらいに、懇談会ニュース第4号を発行する予定です。今回は、平面計画を中心とした記事になりますが、保護者に対する配布と、町会長の方々におかれましては、回覧のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>4点目と5点目は、いつもどおりの議事録と次回懇談会の日程です。懇談会の会議録はまた整理でき次第送付いたしますので、何かありましたらまたご連絡いただければと思います。</p> <p>次回の懇談会ですが、4月下旬を考えています。</p> <p>新年度となりますので、若干保護者など委員の変更があるかもしれないのですが、今の委員さんの方で日程調整をお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、若干メンバーチェンジがあろうかと思えますが、この場でちょっと次回、</p>

	<p>連休前の日程を決めたいと思います。</p> <p>(日程調整)</p> <p>では、4月28日木曜日午前10時でよろしいでしょうか。会場は、杉並第八小学校に会場を移して行いたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>次回の議題はどんな内容になりますか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>次回の内容は、資料1の検討スケジュール案から、また少し変わってくるかもしれませんが、きょうの議題とさせていただきました校名、通学路、メモリアルは引き続き検討していただきたいと思います。</p> <p>それにあわせて、今回は学校側から教育方針について提案があるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>もう設計が始まっていると思うのですが、実はおととい高井戸第二小学校へ行ったときに、校舎を見させていただきました。あそこは全部改築でしたよね。校庭からすばらしい校舎だなと思っています。2階と3階に普通教室があって、想定としては2階が低学年、3階が高学年という形で作られたと思うのですが、2階の教室が全部オープンになっていました。3階はオープンも閉めることも可能なくつくりになっているのですが、何かそういう要望があったのか。</p>
学校整備担当部長	<p>学校ごとに先生方と打ち合わせをしていく中で設計を決めています。学校ヒアリングで設計事務所と打合せをして、オープンにできるときはオープンにして、クラスを超えて、学年単位で授業ができる形にも、従来どおり閉めることもできる形で設計をしました。</p> <p>現在の杉並区の学校づくりは、可動式の間仕切りを設けることを基本に設計を進めています。</p>
委員	<p>でも、高二小の2階は完全に扉がありませんでした。</p>
学校整備担当部長	<p>高二小は、学校の先生たちとヒアリングする中でそのように学年毎に形式を変えた経過があります。これから新校については、先生方と実務的な設計の中で、どうするか決めていきます。</p>
委員	<p>わかりました。</p> <p>それと、見に行ったときに先生から、来年も1クラス増えて、どんどんオープンで使っていた教室が普通教室へ転用になっていると伺いました。本校に関しても、読みをしっかりつくっていただいて検討していただければと思います。</p>
会長	<p>そこも含めてよろしくお願いいたします。</p> <p>ほかにはいかががございましょうか。大丈夫ですか。</p> <p>それでは、本日は以上で終了となります。</p> <p>ありがとうございました。</p>